

		意見（要約）	前回回答（対応方針）	対応状況	その後の対応について	所管課
R6 9.18 開催	1	田んぼの畔の復旧に関わる補助はあるか。	鶴岡市小規模農地等災害緊急復旧事業により、農地等に被害を受けた耕作者に対し、40万未満の復旧工事費の2分1を補助金として交付している。	対応中	羽黒管内で69件の申請があり、67件が完了。残り2件は繰越して令和7年度中に完了予定。 （R6は激甚災害に指定され、県で嵩上げ補助したため1/2となっている。通常は40万未満の復旧工事費の3分1の補助金）	羽黒庁舎 産業建設課 （農村漁村振興課）
R6 9.18 開催	2	住宅の床上浸水が2件との事だが、その浸水程度と直接の原因を特定しているのか。また、今後の対応策は検討しているか。	手向地区では現地調査も含めて今後、冠水対策工事を予定している。 また、十文字では道路側溝や水路からの越水が浸水の原因と考えられることから、引き続き関係機関との調整を図りながら、応急的な浸水対策として土嚢の事前配備について関係者へ周知を図りたい。	対応済	応急的な浸水対策として、土嚢の事前配備に関しては、令和7年度春季区長会の際に、集落区長に対して周知を行った。	羽黒庁舎 総務企画課
R6 9.18 開催	3	中島と黒瀬については被害が無くて助かったが、ハザードマップに載っていないところの被害が出ているようなので、 <u>ハザードマップの見直し</u> をしてもらいたい。	現在の洪水ハザードマップは河川氾濫の浸水域等を表示しているが、今後の洪水ハザードマップ改定の際には降雨により冠水しやすい場所等をマップ上に記載することも検討したい。	対応予定	令和8年度の洪水ハザードマップの改定に際し、地域住民を対象にワークショップなどを開催し、降雨によって冠水しやすい場所をマップに記載する予定。	羽黒庁舎 総務企画課
R6 9.18 開催	4	黄金色に染まった景色が大変すばらしいと思い、何とかあれを観光につなげられないのかと思う。月山高原のひまわりもそうだし、四季折々、ホームページ等でランダムに見られる状況にしたらどうか。 <u>鶴岡市のホームページを見ても、どのイベントを何処でやっているか分かりづらい。もっと見やすいシステムに。</u> 黄金色の小麦畑に人を集めるイベントを出来ないか。	ご指摘の通り、鶴岡市のホームページのイベント情報は分かりづらい部分がある。 掲載方法を工夫するなどして情報が伝わりやすいホームページとなるよう改善する。 また、市では昨年11月に公式インスタグラムを開設しました。こちらでも月山高原を含め、四季折々の鶴岡市のいいところを発信していきたい。	対応予定	鶴岡市のホームページのイベント情報を分かりやすく、見やすくするため改善方法を検討している。	羽黒庁舎 産業建設課 （総務課/観光物産課）
R6 9.18 開催	5	○（月山高原で生産・製粉している小麦）全粒粉なので、テストして、そうめんだけは旨いと思った。商品化したが、もっと早くやれば良かったが、デビューが7月で、販売しようとしたのは1週間でなくなった。 来年は10倍、30倍、50倍のレベルで増える予定。ネット通販のオイシックスでも販売が決定した。そうめんは賞味期限が2年であり、2シーズン大丈夫のためコストが下げられる。そうめんは来年以降大量生産を予定している。 ○食改でカモンマーレに行ったとき、月山高原の小麦で作ったパスタを食べてきたが、そうめんは食べたことが無かったので、ぜひ買ってみたいと思う。 耕作放棄地があるのであれば、麦で良いので作って欲しい。農家としては、年で出来なくなった際、米でも小麦でも、耕作地を継承してもらうのが一番良い。 製粉は西川ではなく、こちらで雇用を創出してやって欲しい。 羽黒町は特産品が無いため、そうめんを特産品として販売すれば良いと思う。	※市内での製粉について 現時点では鶴岡市内に小麦の製粉施設がないため最寄りの事業所を利用している。 月山高原「黄金色の麦畑」創出事業の関係者である齋藤一志委員の発言に、「廉価に生産し販売できれば月山高原エリアで全部やっても」とあることから、当面は未来事業により販売促進につながる地域ブランド化事業の支援を行う。 なお「廉価に粉を生産」については月山高原農地委員会が「麦・大豆生産技術向上事業」を利用して生産性の向上に取り組んでいる。 ・「月山の粉雪そうめん 90g×2束×10袋」の販売量は（申し込み日で）R6.10 1個 R6.11 1個 R6.12 4個 R7.1～ 0個	対応中	（鶴岡での製粉について）月山高原農地委員会会長である齋藤一志委員の第2回の発言内容にあるとおり、いずみ農産で製粉工場建設の計画があるとのこと。 （特産品化について） 令和6年度から月山高原「黄金色の麦畑」創出事業として、月山高原農地委員会の活動を支援しており、「月山の粉雪」の商標登録や、取り扱い店舗の増加などの成果が上がっている。 令和7年度においても引き続き地域ブランド化の取り組みを支援する。	羽黒庁舎 産業建設課 （総務課/食文化創造都市推進課/農政課）
		意見（要約）	対応状況	対応方針		所管課
R7 3.19 開催	1	観光の成果指標の基準数値の根拠はなにか。今後の取り組みの細部が分かればよい。	対応中	羽黒地域全体の観光入込客数の目標値（1,029,400人）を達成するために、以下について今後取り組んでいく。 ・出羽三山地区については、羽黒山五重塔の改修が終わったことから、団体客、個人客や若い客層へ向けての誘客対策を行うとともに、混雑緩和・二次交通の整備・十分な情報発信など、受け入れ環境の不便解消を図ることにより誘客を目指す。 また、R8年の羽黒山午年御縁年誘客対策事業として、御縁年の雰囲気醸成を行うPR事業、団体客誘致に向け旅行会社へ観光素材の提案などを行う。 ・手向地区については景観整備事業の成果を活かし、宿坊街の街歩き誘導対策を検討する。 ・松ヶ岡地区については、青空マルシェの定期的な開催などを通して、地域の産業と観光を結び付ける取り組みを行うとともに、食のスポットとしてブラッシュアップを図る。 ・花いっぱい運動や月山高原ひまわり畑などの事業により地域の景観向上を図る。 ・二つの日本遺産（出羽三山・松ヶ岡）を中心に、それぞれの地域の観光資源を磨き上げるとともに、それらを結び付けた周遊プランや地域としての紹介を強化する。		羽黒庁舎 産業建設課 （観光商工）
R7 3.19 開催	2	鶴岡市内のどこにAEDが設置しているか不明。緊急時に設置場所が即確認できるよう設置マップを作成し公開していただきたい。また公共施設への設置の強と、設置したい団体には助成制度も考えていただきたい。	対応済	鶴岡市の公式ウェブサイトに「鶴岡市内のAED設置状況」を掲載しており、設置場所を確認することができる。 また、公共施設へのAED設置については、必要に応じて適切に検討を進めていく。 さらに、助成制度に関しては、自主防災組織を対象とする「コミュニティ助成事業」がある。		羽黒庁舎 総務企画課
R7 3.19 開催	3	各活動センターの貸館状況がホームページ等で確認できれば利用しやすくなり、コミュニティの成果指標である施設利用者数も増えるのではないか。	対応予定	本市では現在、コミュニティ施設を含む公共施設において、予約や利用状況をオンラインで確認・申込できる「施設予約管理システム」の導入に向けた検討を進めている。 このシステムは、県及び県内市町村と共同で整備を進めているもので、予約状況の確認だけでなく、インターネットを通じた予約申込や利用料の決済にも対応する予定である。 コミュニティ施設への導入については、令和8年度に一部の施設でテスト運用を行い、検証作業を行ったうえで順次対象施設を拡大していく方針である。		羽黒庁舎 総務企画課 （コミュニティ推進課）
R7 3.19 開催	4	泉地区地域活動センター併設の体育館とグラウンドを残して欲しい	対応予定	新泉地区地域活動センター整備とは別に、羽黒地域におけるスポーツ施設の利用状況を考慮しつつ、将来的なニーズを確認しながら、所管課と協議を行い、検討する。		羽黒庁舎 総務企画課
R7 3.19 開催	5	災害時避難した際、避難所となった会場は板の間にシートや椅子の状態であった。長時間になるとつらいためなんとかならないか。また簡易トイレ、簡易ベッドの環境も整えて欲しい	対応済	避難所に保管されている敷きマットや段ボールベッドを利用し、避難所の環境の改善を図る。 なお、簡易トイレやマンホールトイレは備品として保管しており、必要に応じて緊急時に提供する。		羽黒庁舎 総務企画課